



### ●『ある機械』ない仕事

『機械』はあるが『仕事』はない。一部の社員は自宅待機の状態でした。あるのは『時間』と『技術』のみ。そんな時にある社員がこんな提案をしてきたのです。

『技術力はあるから社員のアイデアを募って新商品開発しませんか？』

こんな時なので新しいことをしてみようと思い、懸賞金をつけてアイデアを募集したところ、なんと『47個』もの新商品アイデアが出てきました。そこで生まれたのが、片手で炊事が出来る『カタボン』です。正直売れるかどうかは分かりませんが、妻に試して使ってもらったところ、これぞ『くべんり』だから売れるよ』と言われ商品化をしました。

最初はイマイチでしたが、日経MJに載せて頂いたことがキッカケになり東急ハンズさんやロフトさんでお取り扱いを頂けるようになり、今では年間6万個を販売する大ヒット商品になりました。



### ●史上最大のピンチ到来

同じくらしい時期に『大事件』が起こりました。受注をした1千万円くらいの材料を全て『没』にしてしまったのです。当然相手は『補償』を要求してくる。でもうちは全てを補償した瞬間に会社が『終わって』しまいます。どうしたらよいのか？考えた挙句『ウルトラC』を思い浮かべました。まずは『全て補償する』意思を明確にする。その時点で相手は安心をするので返済方法を交渉するやり方です。

### ●ピンチをチャンスに変える

『1千万円受注したら50万円を返済する』のように受注金額に応じて返済金額を決めるというものです。相手は少しでも早く『損』を取り戻したい。仕事を出さないとお金が返ってこないから仕事を出してくれるはず。そう考えました。

要は『お金返すから仕事下さい』ということなのですが、私の予想通りどんどん仕事を下さり売上がどんどん回復していきました。と同時に、きちんとしたお品物を納めることでプロトワークの『信用』も回復。結果的にミスが帳消しになり『信頼関係』が強くなり、今ではお互いにメインのお取引先になることが出来ました。

### ●困難を乗り越えて

### ●プロトワークの存在意義

『プロトワークさんしか出来ない』から前向きに検討してほしい。そんなお言葉を聞くたびに『世の中に必要とされている会社』と実感出来て、すごく嬉しい気持ちになります。金属加工も量産加工も元々当社は超後発組です。しかしその中でも何とかうまく出来ないかもと早く良いものが出来ないかと必死で考え根気

強く取組みを続けた結果、今では同業他社からベンチマークをされる存在になりました。弊社に相談されるものは『短納期』で『技術的に難しいもの』ばかりです。でもそうした一般的に難しいものをご依頼いただけるのは『プロトワークの誇り』であると感じています。

### ●プロトワーク三つの強み

弊社には『三つの強み』があります。その三つとは、『365日稼働』『99%自社生産』『短納期』です。

365日稼働は、土日のうちに生産を行い週明けにお客様のお手元に届けることで生産リードタイムの短縮を行う為にスタートさせました。週明け仕事始めと共に出来上がった試作品が手元に届いていたとしたらどれだけスムーズにお仕事に入って頂けるでしょうか。

『お客様がお休みに入られている間にプロトワークで試作を終了させる』これも弊社が喜ばれる理由の一つです。

### ●世界に一つしかないものを作るために

弊社ではご依頼いただく案件のうち『99%』を社内生産しています。これはプロトワークにお願いしたいと言った下さっているお客様に対して、自社で対応出来る事が大切であると考えているからです。どうしても難しいものは絶対的な安心感がある協力会社さんをお願いをしています。弊社にご依頼頂く試作品の殆どが『世界に一つしかない品物』だからこそ、厳しい品質管理の元でお作りさせて頂いているのです。

### ●短納期と高品質の両立

弊社では早くお客様のお手元に製品を届けるため『不良率の削減・安定的な良品生産』に向けた取組を重点的に行っています。一見すれば『短納期』と『良品の安定提供』は別のようにも見えますが、不良品による手戻りは結果として大きな時間と資源のロスを生むのです。

『良品を安定的に生産すること』が結果的には短納期に繋がるのです。そのためにプロトワークでは、検査・品質管理の他に生産のデータ管理と分析を行い、今では不良品の出る確率が『0.31%』と業界では例を見ない高水準を維持出来ています。

### ●物作りのプロフェッショナルになる為に

『プロトワークに頼めばほとんどの製品が出来上がる』と仰っていただけのようなものづくりのプロフェッショナルになる、これが私の願いです。より効率よく、より早く、お客様のもとへ製品をお届けするために先ず考えているのが『24時間稼働』です。夜勤という手段を使うのではなく、『人が動いている時間に働いてもらう』という方法で24時間稼働を可能にしていきたい。そのために、『地球の裏側を使った仕組み』を作りたいと考えています。データ作成を主とした子会社を日本の裏側に作り、そのデータを元に加工はお客様のなるべく近くで行えるような仕組みづくりを構築していきます。

### ●プロトワークの本質

プロトワークの仕事の本質は『また世の中に存在しない物の第一号を形にすること』。言い換えれば『アイデアをカタチにする』仕事です。

試作品の完成度が低いと、本生産の完成度が当然低くなります。時には形にすることすら困難な形状と出会うときもあります。そんな時こそプロトワークの腕の見せ所。諦めるのではなくどう削ればお客様が求めるこの形状を作れるのか？この形状に限りなく近づけられるか？その場にいる社員たちが顔をつき合わせて議論を繰り広げる。

そして、出来上がった時にあるのは『感動』なのです。感動を感じられる幸せを噛みしめながら『より良い世の中を創るお手伝い』が出来るのは本当に意義のある仕事。日々使命感を感じながら仕事をしています。



株式会社 プロトワーク  
代表取締役社長 田村常之進  
〒570-0044 大阪府守口市南寺方南通1-5-26  
tel. 06-6993-6361 fax. 06-6993-6362